

平成22年度広島県特別支援学校教育研究大会
研究発表⑤

広島北特別支援学校における
職業教育の充実について

チーフ	広島北特別支援学校	教頭	立石 均
サブ・チーフ	広島北特別支援学校	部主事	中村 景子
スタッフ	広島北特別支援学校	教諭	池田 勝己
	広島北特別支援学校	教諭	戸井 寿美子
	広島北特別支援学校	教諭	崎家 恭子
	広島北特別支援学校	JST	酒井 薫

普通科職業コースの特色

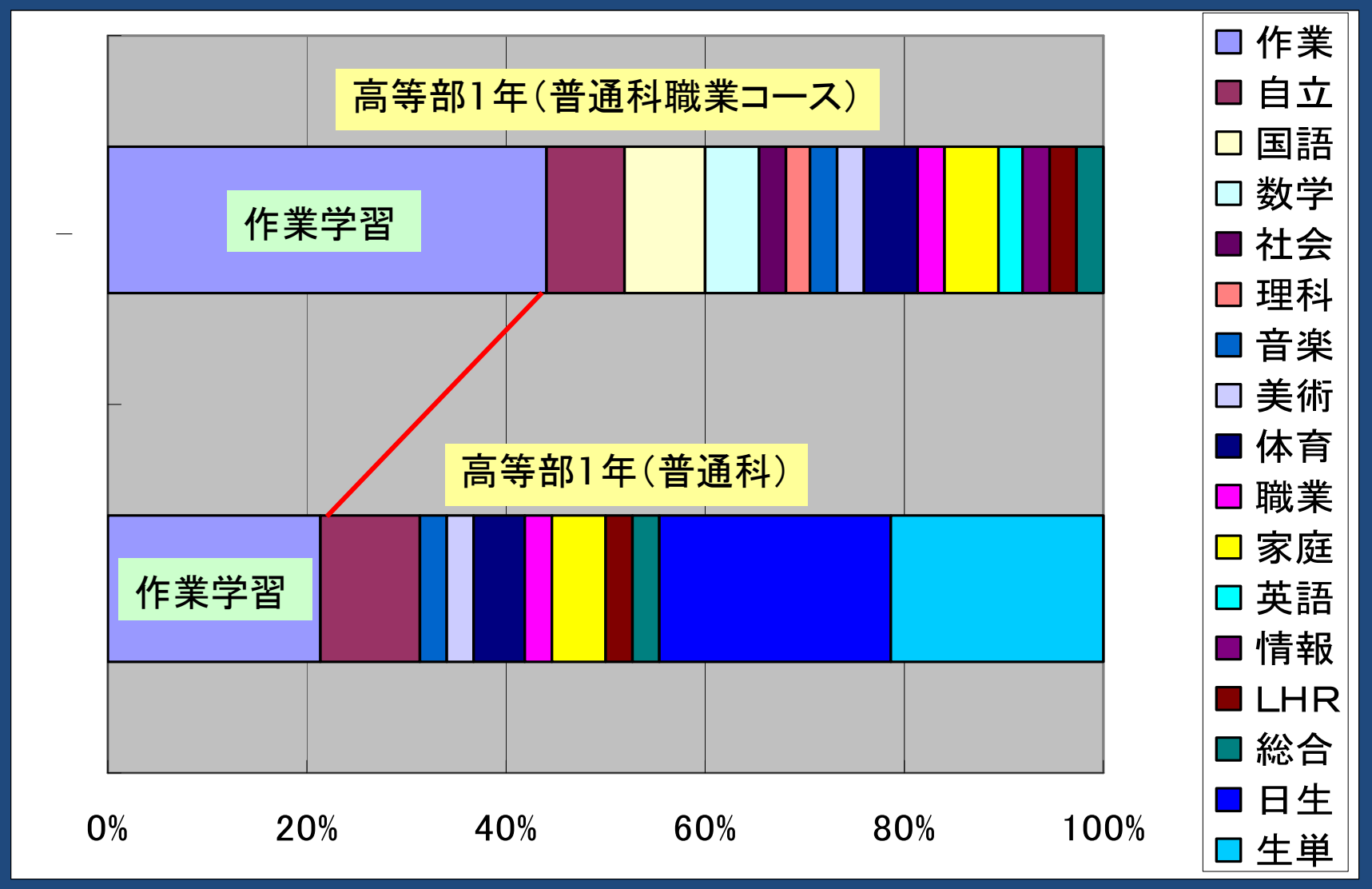
▲ 教育活動全体を通じた、職業観・勤労観の育成

▲ 各教科等の指導を通じた、職業的自立に必要な知識の取得・技能の向上

▲ 週のうち1/3を超える作業学習等の授業時数

▲ 内容 ①ビルメンテナンス, 食品加工,
事務・物流サービス
②公共施設及び企業等と連携した実習

普通科職業コースの教育課程



作業学習

工夫したところ



▲ 意欲を高める

▲ 作業量の確保

▲ 応用力をつける

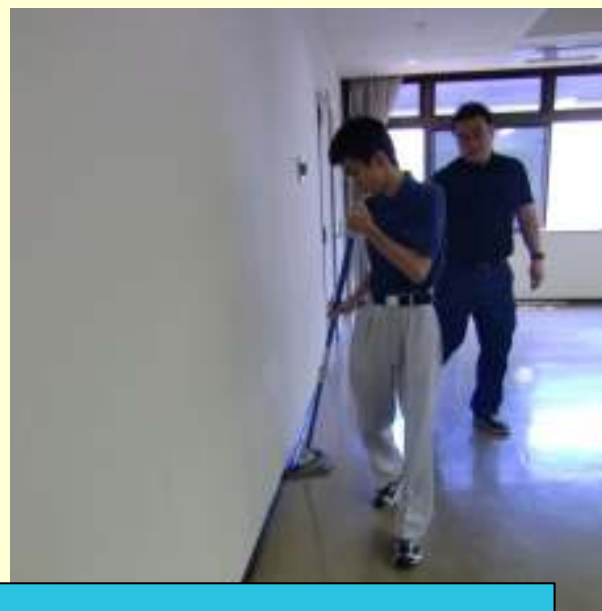
▲ 課題の明確化

▲ 外部人材の活用

外部人材の活用



接客サービス

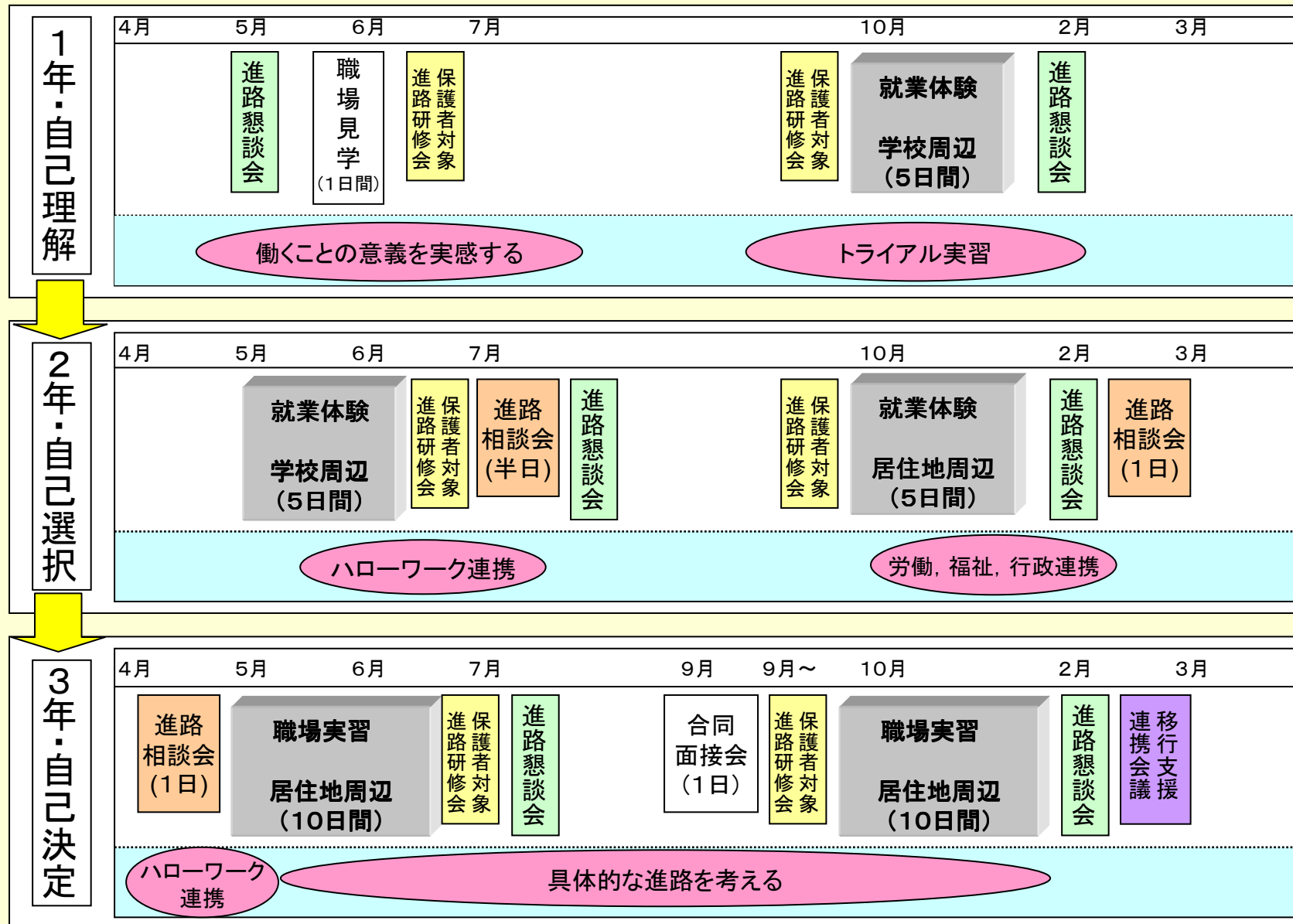


ビルメンテナンス



食品加工

産業現場等における実習



JSTを活用した校内進路指導体制の確立

工夫しているところ

▲ 職場実習の重視

▲ 校内の連携（早く！）

▲ 企業のニーズと生徒の適性把握

▲ 早い段階での雇用判定

▲ ハローワークとの連携による企業開拓

JSTを活用した校内進路指導体制の確立

生徒の実態把握

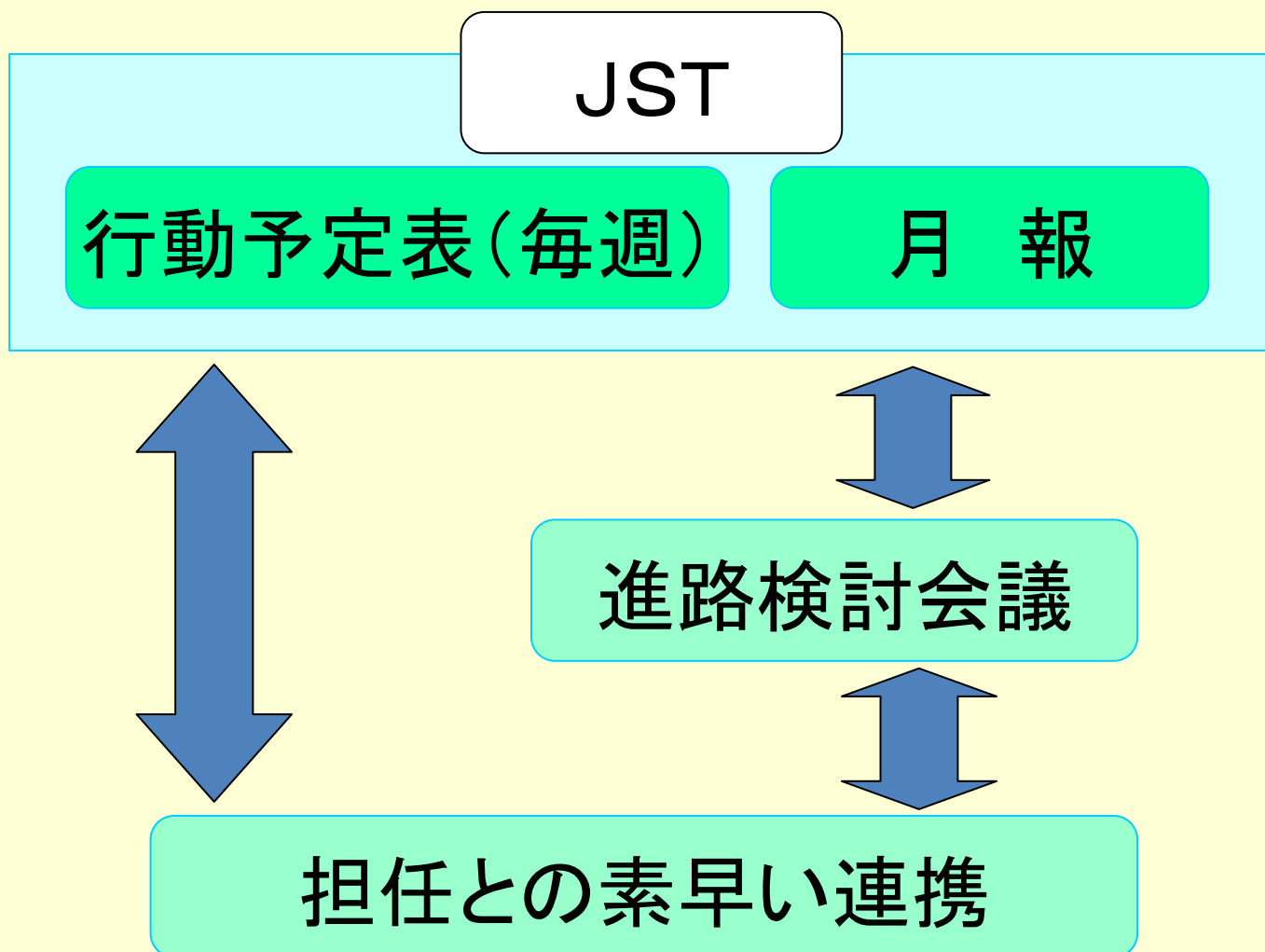
生徒への指導

- 授業見学
- 面接
- 担任との連携

- 職業的自立のイメージ
- 職種適性の把握
- 職種への適応性指導

実習先企業決定へ

JSTを活用した校内進路指導体制の確立



職場実習

実習目標

P

実習

D

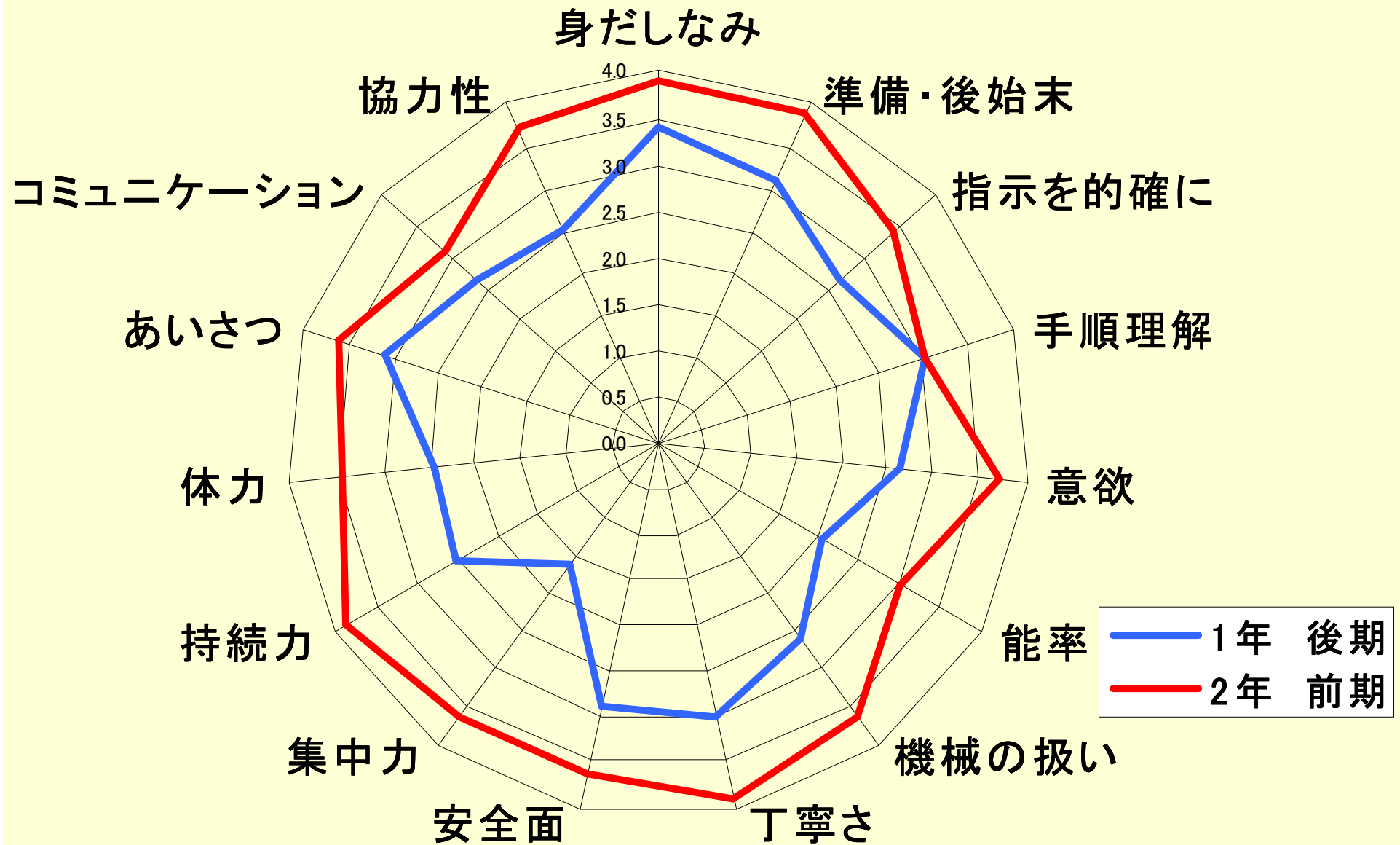
次回の実習に
向けての
取組みへ

A

実習反省会,
課題の明確化
(生徒・保護者・
担任・JST)

C

実習評価表



研究のまとめ(成果と課題)

▲ 生徒の「働く意欲」を育てる

▲ 作業学習の内容の充実

▲ 教師の専門性向上

▲ 校内進路指導体制の強化

▲ ハローワークとの連携強化